

働き方改革との同時導入で
定着の好循環を！

若手従業員確保の切り札！

奨学金^{返済支援}企業をサポート！

奨学金返済支援で
若手人材を確保！

補助対象
充実！

働き方改革と手厚い支援で若年者に選ばれる企業に！

学生の2人に1人は
奨学金を受給している時代！



就職先選びには、休暇の取得や残業の少なさなど
働きやすさが重視されています！



広島県は従業員に対する返済支援を行う中小企業等を支援します。

働き方改革
実施企業

(年額6万円/人まで)

補助率

$\frac{1}{3}$

最長で3か年度

特に

働き方改革の
取組がさらに
進んでいる企業
など

(年額10万円/人まで)

補助率

$\frac{1}{2}$

最長で3か年度

以内

※補助条件は、公募要領などを
ご確認ください。





Q1: 奨学金返済支援は、どういことをするのですか？

Q2: 奨学金を受給して大学や専門学校に進学している人は多いのですか？

Q3: 導入するメリットはなんですか？

A1: 企業が、奨学金の返済を抱えている自社の従業員に対して、手当などを給付することによって、その返済の負担を軽減する社内制度のことです。

A2: 日本学生支援機構の調査によりますと、大学生（昼間部）では49.6%、専門学校生では56.6%が奨学金を受給していると答えています（R2）。

今後の経済情勢次第では、これらの比率はさらに高くなる可能性があります。

A3: 借入金額は約290万円、返済は毎月約15,000円が平均※となっており、20代などの若い世代は、まだ収入が少ないため、経済的・心理的に大きな負担と感じている方が多くいます。（※県補助金活用企業における支援対象従業員の平均）

企業が支援することで返済に対する負担感を軽減し、安心して仕事に専念する環境を整えることで、企業の持続的成長を担う人材の確保や育成への投資となります。

すでに導入している企業からは、従業員のモチベーション向上や会社への帰属意識の向上など、定着に効果を実感している、との声をいただいています。



Q4: 奨学金返済支援制度はどれくらいの企業が導入しているのですか？

Q5: どのような制度内容や社内規程にすればいいのでしょうか？

Q6: 補助金はなぜ「働き方改革」に取り組んでいることが要件なのですか？

A4: 全国的に成長企業や大手企業にも、このような制度を導入する企業が増えています。県内でも、すでに127社以上が導入しており（広島県調べ）、規模は大企業から中小企業、業種も建設業や製造業から、小売業やサービス業まで様々です。

広島県では、「広島県奨学金返済支援制度導入企業データバンク」を創り、県ホームページで制度を導入している企業をPRしています。

「広島県奨学金返済支援制度導入企業データバンク登録企業一覧」HP

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/68/shsk-list.html>

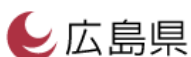


A5: 県の補助金の案内ホームページ（URL下記参照）に制度設計のポイントやさまざまなケースの規程例を紹介している「モデル規程」を掲載していますので、参考にしてください。

A6: 近年、就職先選びに「働きやすさ」が重視されており、広島県では、中長期的に人材の定着を図り、「選ばれる企業」となる上で重要な要素と考えています。



お問い合わせ先



商工労働局雇用労働政策課
電話: 082-513-3424

ホームページ: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/68/shogakukin-hensai-shien-hojokin.html>

広島県 奨学金 応援

検索

